

環境が隔離されていること / アプリが動作すること /
外部からネットワーク・アクセスできること

自前コンテナ管理ツールの動作確認

[ご購入はこちら](#)

土屋 健

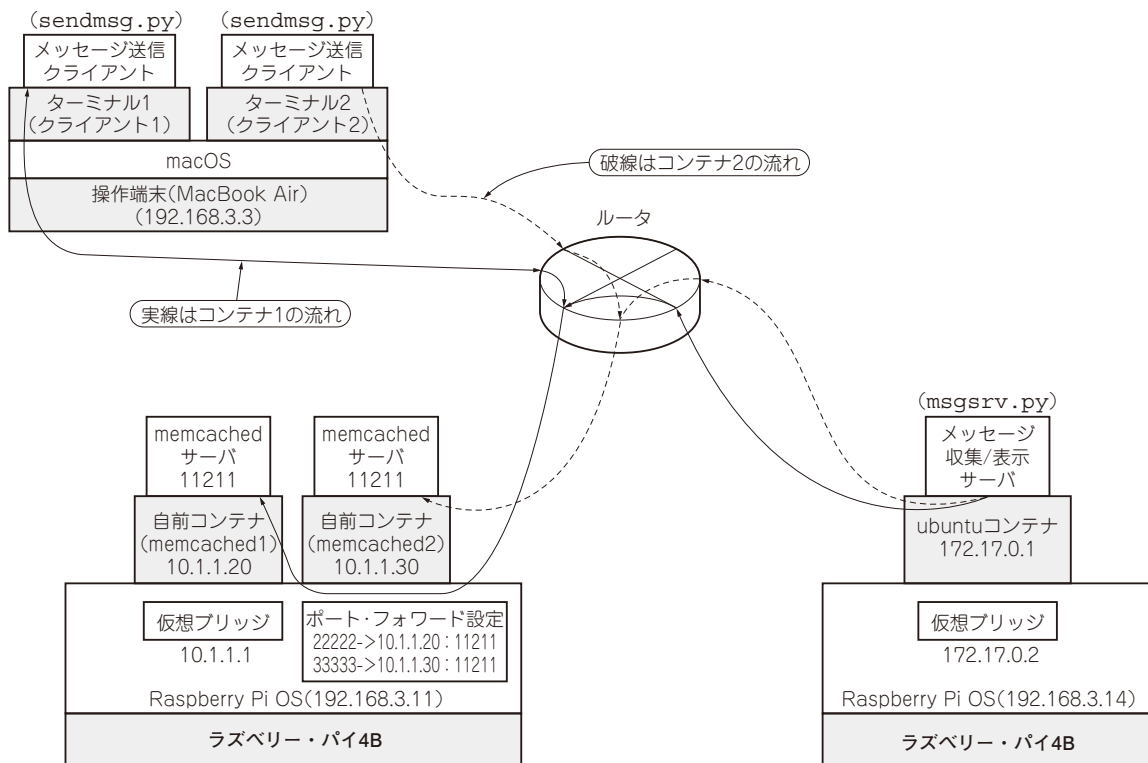


図1 第4章で制作したコンテナ管理ツールの動作確認を行うシステムの構成

前章で制作したコンテナ管理ツールの動作確認を行います。クライアントが入力したメッセージを、クライアントごとに用意したmemcachedサーバに送信日時をキーとして登録します。登録したメッセージをサーバ・プログラムで収集して時系列に表示する機能を提供します(図1)。今回は実験なので、単純な機能のみを実装します。エラー処理などは考慮しません。この動作確認実験では、自前のコンテナ管理ツールで、

- きちんと隔離された環境が構築できること
- コンテナ環境でアプリケーションが動作すること
- コンテナ環境へ外部からネットワーク・アクセス

可能なこと

を確認するのが目的です。従って例示するアプリケーションは非常に簡単なものとしています。

動作確認のために製作するもの

● システム構成

システムは、最低限次の3つのコンポーネントを動作させます。

- memcachedサーバ×1
- メッセージ収集/表示サーバ×1
- メッセージ送信クライアント×1